

ご案内

「台湾有事」を起こさせない！沖縄対話プロジェクト

第一回沖縄・台湾対話シンポジウム

昨年12月岸田政権は「安保関連3文書」を発表、国会討議も無く国民の声も聞かず、戦後安保政策の根本的転換を決定しました。「安保大転換 沖縄最前線」(琉球新報12月17日)翌日の新聞見出しです。「台湾有事」(台湾をめぐる日米と中国の武力衝突)が起これば、沖縄が最前線におかれ戦場となりますが、その沖縄の声さえ日本政府は聞こうともしません。

「沖縄対話プロジェクト」は、対話によって戦争を回避する試みです。昨年10月15日に沖縄市民会館大ホールで発足集会を皮切りに一年間のプロジェクトがスタートしました。

メインの活動である対話シンポジウムの第一回は、「起こされる」戦争によって犠牲者に「させられる」台湾と沖縄との対話です。どのように「台湾有事」による戦争を避け、人々の命を守れるのか？台湾、沖縄から立場や考えの違う人達が集い、次の2点について対話します。「台湾有事」とは何か？「台湾有事」を起こさせないために何ができるか、何をすべきか？

日時：2023年2月12日（日） 13：30－16：30 開場 13：00

会場：沖縄タイムスホール

*同時オンライン配信予定

(近日中にホームページに参加方法を掲載予定)

https://okinawataiwa.net/index.php/2023/01/21/symposium_20230212/

*予約不要・先着 350 名

*参加費 500 円

*沖縄タイムスホールの駐車場は使えません。

本会ホームページ QR コード



プログラム

総合司会：元山仁士郎（元「辺野古」沖縄県民投票の会代表、本プロジェクト呼びかけ人）

開会挨拶：我部政明（琉球大学名誉教授、本プロジェクト共同代表）

発足集会のまとめ：与那覇恵子（元名桜大学教授、本プロジェクト共同代表）

■基調講演：稲嶺恵一（元沖縄県知事、株式会社りゅうせき参与）

■沖縄・台湾対話セッション

コーディネーター：前泊博盛（沖縄国際大学教授、本プロジェクト共同代表）

台湾登壇者：

- ・林彦宏（財団法人国防安全研究院国防戦略與政策研究所 助理研究員）
- ・何思慎（天主教輔仁大学教授）

沖縄登壇者：

- ・高嶺朝一（沖縄対外問題研究会、元琉球新報社長、本プロジェクト呼びかけ人）
- ・山本章子（琉球大学准教授）
- ・神谷美由希（ゼロエミッションラボ沖縄共同代表、本プロジェクト呼びかけ人）

コメンテーター：

- ・岡田充（ジャーナリスト、本プロジェクト呼びかけ人）
- ・本田善彦（ジャーナリスト、台湾在住、本プロジェクト呼びかけ人）
- ・宮城栄作（沖縄タイムス編集局長）

閉会挨拶：上里賢一（琉球大学名誉教授、本プロジェクト呼びかけ人）

主催：「台湾有事」を起こさせない・沖縄対話プロジェクト | 沖縄タイムス社

後援：琉球新報社 助成：庭野平和財団 | 大竹財団

問い合わせ：taniyama@ngo-jvc.net（谷山）、okamoto1954@yahoo.ne.jp（岡本）

Tel 080-3999-2388（沖縄対話プロジェクト）